

整形外科

【一般目標】

- 1) 医療チームの一員として、責任感はもとより、技能、思考、態度を学ぶ。
- 2) 患者およびその家族と良好な対人関係を築くべく、診療手技とコミュニケーション能力を獲得する。
- 3) 講義で学んだ整形外科学の知識を再確認し、実践的な知識を習得する。
- 4) 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を応用し、担当患者の問題の理解し、『病因・病態』から『診断・治療』までの一連の流れを総合的に理解し、問題解決型の思考過程を身につける。
- 5) 医師としての基本姿勢を臨床の現場から学ぶ。

【到達目標（行動目標）】

- 1) コミュニケーションにより、患者および家族と良好な人間関係を築く。
- 2) 患者および家族から必要な診療情報を収集し、整理する。
- 3) 身体診察所見（関節疾患、脊髄疾患など）に基づき診療に必要な情報を収集する。
- 4) 主要な症候を理解し、鑑別診断の原則に基づき診療計画を立案する。
- 5) 単純レントゲン、MRI、CT、脊髄造影検査など整形外科領域の主要な検査について、概要、有用性、限界、危険性を説明し、結果を解釈する。
- 6) 整形外科領域における主要疾患について、症候、病態、診断、治療を学ぶ。
- 7) 収集した情報を基に、POMR<問題志向型診療記録>を作成する。
- 8) 症例を要約する習慣を身につけ、状況に応じて適切にプレゼンテーションする。
- 9) 診療に必要な知識・情報（各種の診療ガイドライン等の電子化情報を含む）を、適切に検索・収集する。
- 10) 医療チームの構成や各構成員（医師、薬剤師、看護師、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制について説明し、チームの一員として参加する。

【注意事項】

- 1) 端正な服装を心がけ、清潔な白衣を着用すること。その際にはネームプレートを付けること。
- 2) 患者さんや他の医療スタッフと接する際には大人としての礼節を保ち、態度、言葉遣いに気を配ること。特に、患者さんと接する際には、実習に協力していただくことに対する感謝の気持ちを忘れないこと。
- 3) 守秘義務、個人情報の管理には常に留意すること。また、予断や想像に基づく無責任な情報は決して伝えないこと。
- 4) 欠席、遅刻の場合は必ず届け出ること。

広島市立広島市民病院

【実習の内容】

- 1) 整形外科治療の柱である『手術』を多く経験することを基本としてはいるが、希望があれば適宜調整する。
- 2) 実習期間中、指導医の指示した患者を主治医（団）の1人として診療し、入院から退院までの医療に参加すること。具体的な診療行為については、逐一指導医の指示を仰ぐこと。
- 3) 病歴聴取、診察、検査より今後の治療方針を指導医と相談すること。
- 4) 毎週の金曜日の午後4時45分より整形外科病棟の総合回診、引き続き、術前カンファレンスを行う。その際、担当患者に関する情報提示ができるように準備しておくこと。

【当科の週間スケジュール】

月	火	水	木	金
8:30までに担当患者回診				
手術	手術	手術	手術	病棟/外来
(外来)手術/検査	手術	手術	手術	検査/総合回診 カンファレンス

【実習指導医】

日本整形外科学会専門医（8名）

石田 治 リハビリテーション科上席主任部長

西川公一郎 副院長

曾田是則 整形外科主任部長

中村光弘 整形外科部長

竹内美知子 整形外科副部長

力田高德 整形外科副部長

原田洋平 整形外科副部長

槇坪真奈美 整形外科副部長